

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年2月22日

【評価実施概要】

事業所番号	2770108963		
法人名	社会福祉法人 野田福祉会		
事業所名	グループホームハーモニープラザ		
所在地	大阪府堺市東区南野田35 (電話) 072-230-0055		
評価機関名	特定非営利法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年2月13日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成20年1月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 4人, 非常勤 18人, 常勤換算	6.57人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての 1 ~2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	13,300 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(平成20年1月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	0	要介護2	5		
要介護3	8	要介護4	4		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 83.4 歳	最低	65 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハーモニー診療所、辻本医院、石橋歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同敷地内に特別養護老人ホーム、ケアハウス、診療所、デイサービスなどがあり様々な福祉ニーズに対応できる充実したケア体制になっています。最寄駅から徒歩10分ほどで交通の便もよく近くには小学校や中学校もあり自然と地域に溶け込んだ環境になっています。ホーム自体も食堂が開放的で入居者や職員が馴染みの関係を築きながら生活ができるような環境になっています。職員は入居者の「あたりまえの生活を守る」ということ目標に支援されています。また、家族との会話を大切し、積極的に意見を伺い、それを生かし取り組んでいく意欲を持たれていました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の結果を真摯に受け止め地域との連携や職員研修を積極的に行うことに努めていました。ホーム設立から2年が経ち、多忙な業務の中、日々改善に向けて苦労しながら考えられていました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己を評価することで管理者と職員は今後の問題点も再確認でき、外出や急変時や事故発生時の対応など具体的に今後、取り組みたいことを認識されていました。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目	2ヶ月に1回は市職員をはじめ、家族や民生委員、居宅介護支援事業者が集まり定期的に継続的に運営推進会議を開催されていました。運営推進会議の内容はサービス提供状況や日々の入居者やホームの活動の報告、様々な苦情についての報告などで定期的に顔を合わすことでお互いが物を言いやすい関係をつくられていました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目	家族との関係を大切にされ家族の訪問時には積極的にコミュニケーションをとられています。また、必要時には事前、事後報告を個別に電話等で行ったり、運営会議でも報告されていました。家族の意見を取り入れるために玄関ホールには意見箱を設置するなど配慮されていました。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	グループホームを運営する法人として、自治会に参加され地域との連携を大切にされています。ホームとしても外部からの訪問は積極的に受け入れる姿勢を持たれ、近隣の中学校や保育園と積極的な交流を持たれ、今後も新しい取り組みとして様々な地域の方との連携を考えられています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念とは別にホームとして「あたりまえの生活を守る」という理念を持ち、それに向け職員一同が取り組んでいる姿勢が見られました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を職員間で共有して入居者ひとりひとりの好みや習慣、こだわりなどを大切に、日々の生活の中で入居者のさりげない言葉を見落とさないように日々、取り組んでいました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	中学校の運動会や保育園の行事に参加されました。又、小学校にも働きかけをおこなうなど今後も地域との交流に努めようとする姿勢がみられました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行い、外部評価を受けることでホームの改善課題を確認し、取り組む姿勢が見られました。ホーム関係者と外部者の視点の違いも再確認もされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一回、家族や民生委員、居宅介護支援事業者、市職員等が集まりサービスの提供状況、苦情、日々の活動を報告はしているが話し合い、議論するまでは取り組めていないとのことでした。</p>	○	<p>運営推進会議での取り組みを更にサービス向上に生かしていけるように積極的な話し合いを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議には堺市の職員が参加されましたがそれ以外には行き来する機会はないとのことでした。</p>	○	<p>市職員の研修の場にしてもらいながらお互いのレバルアップを図るなど今後は連携方法について検討されることを期待します。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月請求書を送る際に写真を同封したり近況報告、金銭報告されていきました。季節ごとになるように広報誌「プラザだより」を作成する取り組みもされてました。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関前に意見箱を設置して幅広く意見を集めようと努力されていきました。家族には電話や面会時に意見を聴取し、出来る事はすぐに運営に反映するようにされていきました。出来ない事に関しては十分に説明を行い、納得して頂く取り組みをされてました。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>常勤の職員は安定して働いているが昨年の夏頃まではパート職員の入れ替わりはあったようでした。それに対して特に具体的に何も行っていないとのことでした。</p>	○	<p>無意識に利用者に対して職員の異動等による影響を最小限にする配慮はされていたと思われませんが具体的には取り組んでいませんでした。今後の取り組みを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時研修を一ヶ月間、徹底的に行っていました。法人内外の研修も段階に応じて参加できるように配慮されていました。認知症介護実践研修や職員希望の研修に参加できるようにも配慮されていました。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームがある東区では同業者と交流ができる機会が少ないようですが北区では積極的であるよう参加を検討されているが急用などもあり参加できていない状況であるとのことでした。	○	同業者との交流によるネットワーク作りなどの必要性を理解されていて今後は積極的に参加される意向とのことでしたので更なる充実を期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	それぞれの家族の事情もありサービスをいきなり開始する機会が多いとのことでしたがホームではどのような背景がある入居者も受け入れる姿勢を持ち、場の雰囲気に馴染めるように配慮されていました。	○	家族の事情もあり全ての入居者にといいわけではありませんが、今後、利用前に馴染んで頂けるような環境作りや取り組みをされることをご検討下さい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴をふまえて職員は利用者がもっている知恵や知識を教えをもらいながらそのことを入居者の日常生活の充実に生かせるように心掛けていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の生活歴を参考にしながら現在の入居者の状況を把握し「自分ならどう思うか」と常に考えながら行動するように配慮されました。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、職員の意見やアイデアを反映した介護計画を作成されていましたが作成した内容については家族との話し合いは十分にできていないとのことでした。</p>	○	<p>介護計画作成者はホームの職員と協力しながら、本人や家族に事前確認を行い、介護計画を作成されていますが定期的に話し合いや確認を行い、更に充実するようにご検討下さい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を確認しながら状況に応じて介護計画期間にとらわれず変更されていましたが家族との話し合いは十分にできていないとのことでした。</p>	○	<p>家族の訪問時や月に一回の請求時に変化があったことを報告されていましたが定期的に介護計画の話し合い、見直しを行い、更に充実する事をご検討下さい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>身体能力が低下しても入浴は介助方法を工夫してホーム内で対応されたり医療的な対応が安定すれば本人や家族が望むなら馴染みのホームで生活して頂けるように対応されました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関である同法人の診療所が週に3回、皮膚科は月に一回往診があり家族や本人の希望があれば協力医療機関以外の受診も可能でその際、受診結果も家族と職員で共有するようにされていました。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階で重度化や終末期のあり方について家族や入居者と相談されていました。実際にそのようなケースになったときも家族や本人、医療機関と相談や連携をとりながら看取りにも対応できるように考えられていました。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>調査時もトイレの声かけは入居者に配慮されながらさりげなくされていました。個人情報についても十分に注意を払うように職員に意識徹底されていました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事は朝の5時から可能であったり起床、入浴、就寝、排泄などひとりひとりのペースに合わせる様に配慮されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食は自由にパンかご飯かを選び、入居者個人の能力に合わせ盛り付けや後片付けなどを行っていただくとのことでした。月に一回はおやつ作りなども行い、入居者と職員が楽しみながら取り組んでおられました。	○	月に一度、おやつ作りを始められたとのことですが日々の生活の中で行事的要素ではなく職員と入居者の話し合いのなかで食べたい食事を一品作ってみるなど前向きにご検討下さい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者ひとりひとりに合わせ湯の温度、湯につかる時間、身体を洗う前に湯船に入る入らない、毎日入るなど柔軟に対応されています。また、身体能力が低下した入居者にも2人で介助されたりと環境変化に敏感な利用者の気持ちに添って取り組んでおられました。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	おしぼりたたみ、食事前のテーブル拭き、ゴミ捨て、新聞取り、掃除機をかけるなど入居者の出来る事、出来ない事を毎日の生活の中から見つけ出す努力や工夫をされていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の状態に合わせて買い物や散歩に出かけていました。出来ない方にも新聞取りやゴミ捨てなどを手伝って頂き、一日一回でも外気に触れて頂く工夫をされていました。昨年10月には水族館に出かけたり、今後、入居者ひとりひとりの希望に添った外出援助を検討されていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	広いホーム内は自由に行動して頂きたいという考えもあり玄関は施錠されていました。居室の出入りや外部からの訪問は自由で窮屈さや締め付け感を感じられませんでした。	○	ホーム内を安全に自由に行動して頂きたい気持ちは共感します。しかし、広い敷地内で同法人の施設や職員に協力して頂きながら難しい問題とは思いますが鍵をかけないケアについてご検討ください。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同敷地内にある法人では避難訓練を行い、参加されていました。また、法人での災害マニュアルは職員がいつでも確認できるようにされていました。	○	ホーム独自のマニュアルは現在作成されているとのことでした。今後、ホーム独自の避難訓練もご検討下さい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者ひとりひとりの生活サイクルを表にして食事量、水分摂取量を職員一同が共有できるようにされ体調管理に努めていました。日々変化する入居者の状態を把握する工夫がみられました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の食堂は明るさも丁度よく、清潔感もあり入居者が集う空間になっていました。職員が幼稚にならないように適度な量の掲示物を飾ったりと配慮されていました。	○	2月中旬の訪問でしたが食堂にはお正月の掲示物が掲示されていたので季節に合わせた掲示物をご検討ください。また、異食行為がある入居者もいるようですが玄関ホールは殺風景に感じられましたので居心地の良さを感じるようにご検討下さい。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族には事前に「何でも持ってきて下さい」とお伝えし、入居者や家族の思いを大切にされていました。家族で写真を飾ったり家具を持ってきたりとレイアウトを楽しまれている様子を感じられました。希望者にはベットや畳の貸し出しをされたりと入居者の個性に合わせた工夫もされていました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。